



# “いざというとき” その日に来る前に 洪水・土砂災害ハザードマップの活用を!

市では昨年9月、「名張市 洪水・土砂災害ハザードマップ」を作成し、各地区を通じて、皆さんのご家庭に配布しました。「もし災害が起これば、どのように避難すべきか?」など、地域や家庭でも話し合い、このハザードマップを活用してください。



☎ 危機管理室 ☎ 63・7271

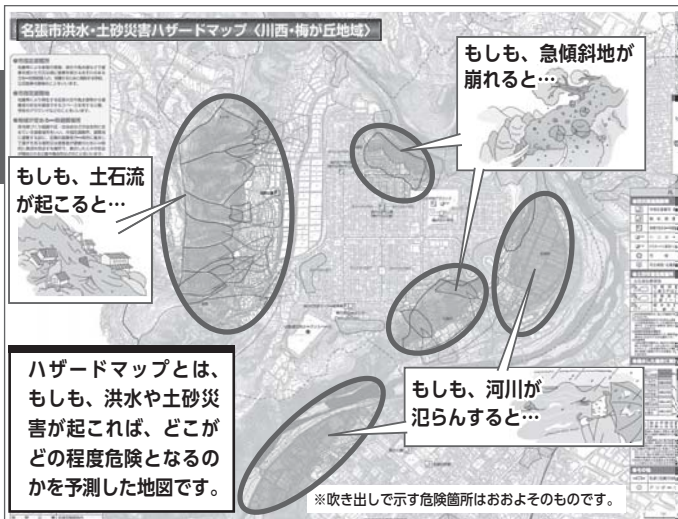
いざというとき  
活用していただく



危機管理室  
由川 晃規



お住まいの地域ごとに作成しています。  
危険予測の地図のほか、洪水・土砂災害への備えや避難時の心得、風雨などの基礎知識、注意ポイント、緊急連絡先も合わせて掲載しています。  
転入や転居などで、現在お住まいの地域のハザードマップがお手元がない場合は、危機管理室(市役所2階)でお渡しします。



※ 洪水予測は、平成14年に国土交通省が、また24年に県がそれぞれ管理している河川について公表したものを表示しています。土砂災害が発生するおそれのある部分は、県が14年に公表した土砂災害危険箇所と24年に指定した土砂災害(特別)警戒区域を表示しています。今後は、状況の変化などに応じ、見直しを行っていく予定です。

## わたしたちの地域でも活用しています!

## 川西・梅が丘地域づくり委員会 防犯・防災部会

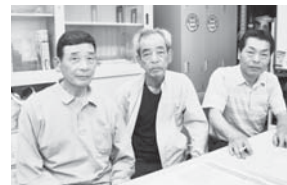
地域づくり組織で、地域の将来像を考えたビジョンづくりをきっかけに、防災のまちづくりを検討するようになりました。住宅地の梅が丘では、今まで防災対策まで考えることはしていませんでしたが、現在は地域づくりの組織がまとまり、具体的に防災対策を検討できる体制が整ってきました。



ハザードマップを見ると、川沿い地区は浸水、山沿い地区は土石流警戒、住宅地でも急傾斜地崩壊の危険があることが分かりました。地域全体

で危険箇所を把握し、各地区に応じた行動マニュアルが必要だと思い、防災計画を策定しました。

7月には、川西・梅が丘地域で初めての合同防災訓練を実施する予定です。他人事ではなく、自分で考え行動し、地域で助け合う。この訓練が、地域の防災意識を高めてもらうきっかけにしてほしいと思っています。



防犯・防災部会の  
五林さん、林田さん、足立さん(左から)



## “いざというとき” その時のために 「上級救命講習」受講者募集

### 上級救命講習の内容

- ▼成人・小児・幼児に対する心肺蘇生法
- ▼AED(自動体外式除細動器)の取り扱い
- ▼止血法、搬送法、外傷手当など

日時 6月30日 午前9時~午後6時  
 場所 防災センター(鴻之台1)  
 対象 市内在住、在勤者の15歳以上の  
 人 定員 20人(先着順) ◎受講無料  
 申込 6月10日(月)から16日(日)(午前9時~午後6時)までに名張消防署・桔梗が丘分署・つづが丘出張所に直接申込  
 ※電話による申込はできません

☎ 名張消防署 ☎ 63・0999

「上級救命講習」のほかに「普通救命講習3時間」「救命入門コース(90分)」などがあります。また、1時間程度で応急手当の基本的な技術を習得できる応急手当講習会もあります。詳しくは、名張消防署へお問い合わせください。



いざというとき  
活用していただく

名張消防署  
山本 真己